



アーキテクチャ図

Amazon EKS を使用してマイクロサービスでアプリケーションをモダナイズする



Amazon EKS を使用してマイクロサービスでアプリケーションをモダナイズする: アーキテクチャ図

Copyright © 2026 Amazon Web Services, Inc. and/or its affiliates. All rights reserved.

Amazon の商標およびトレードドレスは Amazon 以外の製品およびサービスに使用することはできません。また、お客様に誤解を与える可能性がある形式で、または Amazon の信用を損なう形式で使用することもできません。Amazon が所有していないその他のすべての商標は Amazon との提携、関連、支援関係の有無にかかわらず、それら該当する所有者の資産です。

Table of Contents

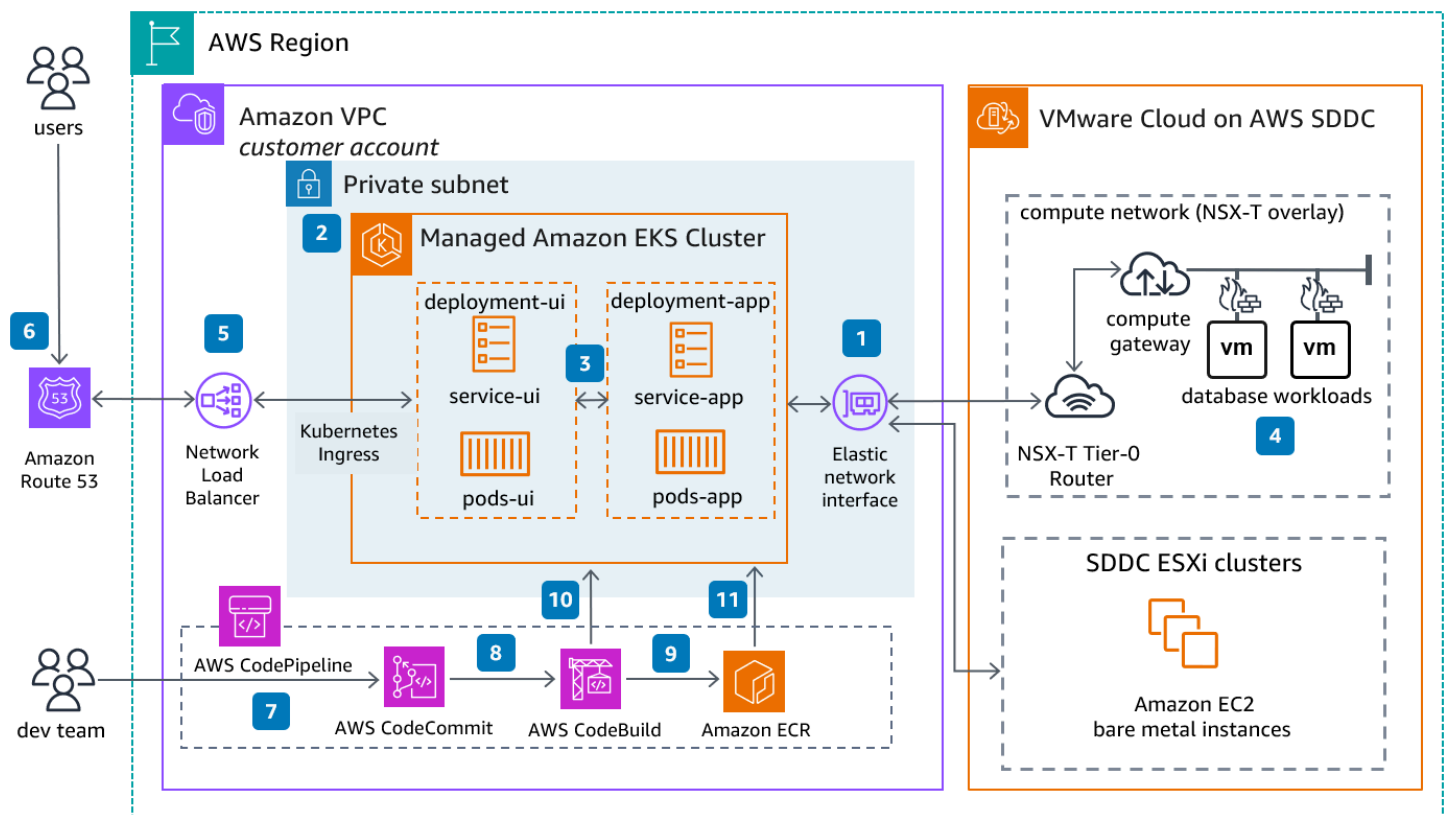
Amazon EKS を使用してマイクロサービスでアプリケーションをモダナイズする	i
Amazon EKS ダイアグラムを使用してマイクロサービスでアプリケーションをモダナイズする	1
詳細情報	2
寄稿者	2
図の履歴	3
.....	iv

Amazon EKS を使用してマイクロサービスでアプリケーションをモダナイズする

公開日: 2023 年 7 月 24 日 ([図の履歴](#))

このアーキテクチャにより、Amazon Elastic Kubernetes Service (Amazon EKS) を VMware Cloud on AWS と統合できます。AWS DevOps ツールを使用してアプリケーションのモダナイゼーションを加速します。

Amazon EKS ダイアグラムを使用してマイクロサービスでアプリケーションをモダナイズする



1. Elastic Network Interface は、 Software-Defined Data Center (SDDC) プロビジョニング AWS 中に、VMware Cloud on の Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2) ベアメタル (ESXi) ホストに自動的にアタッチされます。
2. さまざまな環境 (dev/test/production稼働) にフルマネージド Amazon Elastic Kubernetes Service (Amazon EKS) クラスターをプロビジョニングします。

3. AWS App2Container (App2Container) などのツールを使用して、コンテナ化されたマイクロサービスへのアプリケーションのリファクタリング/再構築を高速化します。Amazon EKS を使用して、コンテナワークロードのテストとデプロイを管理および自動化します。
4. レガシーシステムを最小限の中断で最新のアプリケーションに変換してコンテナ化します。既存のデータベース階層は、VMware移行の複雑さと遅延を回避するために、VMware Cloud on AWSで実行し続けることができます。
5. Network Load Balancer は Kubernetes Ingress Controller と統合され、アプリケーションを公開するための安全で一貫したアプローチを提供します。
6. Amazon Route 53 は、プライマリの Network Load Balancer への受信リクエストを解決します AWS リージョン。
7. 開発チームはコードを AWS CodeCommitリポジトリにコミットし、 がパイプラインを通じてコード変更の処理AWS CodePipelineを開始します。
8. AWS CodeBuild はコードの変更と依存関係をパッケージ化し、Docker イメージを構築します。
9. 新しい Docker イメージは Amazon Elastic Container Registry (Amazon ECR) にプッシュされます。
- 10.CodeBuild は Kubectl コマンドラインツールを使用して Kubernetes API を呼び出し、マイクロサービスデプロイのイメージタグを更新します。
- 11.Kubernetes は、Amazon ECR で指定された新しい Docker イメージに従って、アプリケーションデプロイ内のポッドのローリング更新を実行します。

詳細情報

詳細については、「」を参照してください。

- [AWS アーキテクチャアイコン](#)
- [AWS アーキテクチャセンター](#)
- [AWS Well-Architected](#)

寄稿者

このリファレンスアーキテクチャ図の寄与要因は次のとおりです。

- Sheng Chen、VMware Cloud on シニア移行ソリューションアーキテクト AWS
- Amazon Web Services、マネージャーパートナーソリューションアーキテクト、Jyothi Goudar

図の履歴

このリファレンスアーキテクチャ図の更新について通知を受け取るには、RSS フィードをサブスクライブします。

変更	説明	日付
図の更新	図のレビューと更新による鮮度の向上	2023 年 7 月 24 日
初版発行	リファレンスアーキテクチャ図が最初に公開されました。	2021 年 4 月 12 日

Note

RSS 更新をサブスクライブするには、使用しているブラウザで RSS プラグインが有効になっている必要があります。

翻訳は機械翻訳により提供されています。提供された翻訳内容と英語版の間で齟齬、不一致または矛盾がある場合、英語版が優先します。